

材木屋とエコ 環境 省エネ(第70回)

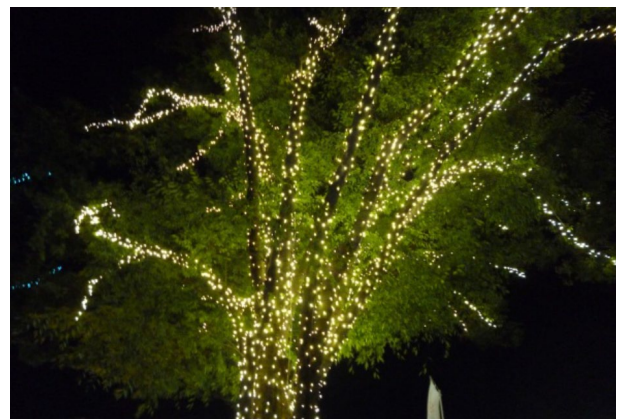
NHK「ブラタモリ 大宮へ」

(株)コバリン 奥澤 康文

7月1日(土)NHK総合テレビ(午後7:30~8:15)で放映。今は交通の要衝として発展している大宮だが、江戸末期から現在までを辿る旅で興味深かった。有名なタモリさんが大宮公園を知らなかったのは、埼玉県民700万人もさぞ驚きだったと思う。明治初期の大宮は上尾や熊谷より寂れていた為、大宮氷川神社の広大な敷地の一角に、リゾート(高級料亭群)を造成し、明治18年、大宮駅招致を契機に、上越線、東北線の分岐点として目覚ましい発展が続いた。明治中期、当時有名な殆どの文人(夏目漱石、森鷗外他)俳人(正岡子規)始め、東京から多くの観光客が逗留し、自然豊かな武蔵野台地の逍遥を楽しんだ当時の記録も多く残っている。翌7月2日(日)、改めて氷川神社、大宮公園付近を散策。直線で長さ2kmの参道(徒歩で約30分)は日本一と知り感慨深い。約120~130年前の当地の面影を想像してみると別な気分になった。



地元の観光大使?の御嬢さん。色とりどりのLEDの照明に囲まれ、初日は大いに盛り上がりました。



LEDで、ケヤキの大木もこの通り。まるで、おとぎの世界へ誘われる。白雪姫と7人の小人…。



子供も大人も楽しい世界に大喜び。銀河鉄道999みたいな夢のある汽車に乗ってみたい人は多い。



沢山のLEDで作ったアーケード。雨が降ってきて、傘をさしている。七色の虹の世界へようこそ。

さて、JR大宮駅東口の氷川参道の平成広場付近が盛り上がっている。6月17日(土)から10月15日(日)迄の夕方(午後10時迄)、毎夜きれいなイルミネーションが設置され賑わいを見せている。

【AI(人工知能)とDNAの事】 7月5日(水)某銀行総会での講演会の話が興味深く、記憶を基にその一部を紹介します。講師は、池谷裕二氏(東京大学大学院 薬学系研究科 教授、46歳)テーマは、「脳を知って、脳を生かす」事前の予想ではちょっと難しそうで、どうかな? との不安がありました。著名な先生が素人向けに本来の難しい話を、先生独特のユーモアと歯切れ良い説明と具体的な図表でよく理解できた。先生は、毎朝、最新情報をキャッチアップする為、ネット検索で、100~200本の論文を読んでいるそうです。我々の木材業界では、とても考えられないスピードに驚き、情報や技術は超高速で日進月歩と思った。結果的に、通常の経済評論等よりも面白く、他の参加者の評判も総じて良好であった。欠伸をする人もおらず、1時間半の講演があつという間に終了。連日の猛暑の中、好奇心をそそる清涼感ある話にグイグイ引き込まれ、業種は異なるが或る意味で今の経営には必須項目と思った。

AI(artificial intelligence:人工知能)とDNA(デオキシリボ核酸:遺伝子情報)の研究・開発が急速に進展。人の苦手をコンピュータに補ってもらう為の開発したが、既に、囲碁、将棋、ゲーム等多く分野で、コンピュータが人の能力・経験を凌駕し始めている。『Nature』(英国の総合学術雑誌)の2月号では、体の表面の「ホクロ」をスマホで撮影して送れば、病院から診断が得られる所まできているという。又、米国の運輸省では、将来、AIを法律上の運転者とみなすとの事や100年前の米国の白黒写真がカラーに復元可能等活用範囲は拡大中との事。

『日経新聞』(2016年12月)に、現在の人間の仕事の47%は、将来、AIに仕事を奪われる。今の小学生の65%は、大人になって今ない仕事に就くという。20~30年前、今のIT産業は無かった。この先、更に加速して行けば、イギリスの産業革命(18世紀後半)と言える変革に匹敵すると言う。人間の平均寿命も伸びており、2007年に生まれた人の約50%が、100才まで生きるだろうという。AIに駆逐されない仕事、人にしかできない仕事は何か? 米国では、既に、AIが出筆しているが、日本では遅れているとの事だが、正確で潤いのある文章も書けるし、新聞記者が仕事を取られる事態が出始めているようだ。又、人工知能は、シェイクスピア並みの詩も書き、絵も描く、作曲もするようだ。レンブラントの作風を真似して絵が描け、専門家が見ても精巧で判別が難しいと言う。素人の私も楽しみな反面、別な怖さも感じる。

消える仕事:

①タクシー運転手、②レジ係り、③銀行窓口係り、④ローン申請、⑤モデル 等

残る仕事:

①外科医、②社長職、③作業療養士、④小学校の先生、⑤保育士 等

人工知能が成長中。人間らしさは何か？が改めて問われる。人間とチンパンジーは、DNAが約98%同じ。自分のDNAを調べておくと、病気がわかる。誰もが数十の遺伝病を抱えている。池谷先生が我々に向かい、「自分の遺伝子を調べてみたい人？」と問いかけると、何と大部分の参加者が手を上げた。この意外な結果に先生は少し驚き、普通の調査ではせいぜい半分位という。しかし、今回の参加者が高齢化の為か？実は、私も手をあげていました。

又、DNAを研究することで、病気を治療する時代は終わり、これからは予防する時代になるという。それが可能な時期になれば、今の医療費が1/10になるとの試算もあるとの事。遺伝子は、自分の唾液を検査してもらえば、簡単にわかるという。遺伝子の型は一生変わらない。自分のかかりやすい病気がわかってくる。例えば、痛風になり易いかどうかも遺伝子でわかる。調べる怖さよりも、かかりにくい病気が分かる為、安心することもできる。又、病気以外の事もわかる。例えば、500年前の親の出身地。即ち、日本以外の外国のどこかなどもわかるそうです。体質、性格、才能もわかるという。

- ①酒で赤くなる。 ②耳垢 ③天然パーマ ④はげるかどうか ⑤胸の大きさ
⑥近視になり易いか ⑦太りやすいか ⑧長生きかどうか ⑨記憶力
⑩失敗から学習するか ⑪浮気性かどうか ⑫IQ ⑬筋力の性能 ⑭数学の力 等

遺伝子情報は、髪の毛1本でもわかるという。遺伝子情報の検査は、海外、特に米国では民間企業がドンドンやっており、250億ドル(数兆円)産業になるだろうといわれている。これからの時代は、遺伝子と人工知能の時代になると言われている。講演後、当然ながら自分の努力ではどうにもできない、「人は生まれながらにして不平等」と実感。AIの進化やDNAの解析で、人類に夢を与える反面、22世紀初頭には平均寿命が100歳になる予測され、現在の社会基盤が根底から崩れる心配もある。卑近な例では、仕事、年金、介護、医療等多い。健康で長生きは万人の願いだが、健康寿命を延ばす為の具体的な医療体制、食生活、適度な運動や発声練習等重要になる。100年後は、我々から見ると無縁の将来だが、孫の時代と思うと身近な感じがする。

【悲惨な自然災害多発】 又、8月上旬、九州の福岡と大分で、地球温暖化が原因？と言われる、局地的な猛烈な集中豪雨により、広範囲な山崩れが発生し甚大な被害が発生した。有名な林業地で、大量の土砂や瓦礫・流木が河川、住宅、村落、畑から、そして遠い有明海に至るまで散乱し多くの犠牲者や社会基盤の崩壊が出ている。非常に痛ましい事態に言葉を失う。又、35℃前後の猛暑日が北海道を含む全国各地で続き、急な集中豪雨も多発。思えば、過去約20年、国内、国外共に自然災害が多発している。地球温暖化は、南極にも及び南極大陸を覆う氷の溶解がすすみ、上空からの巨大な氷山亀裂の写真を見ると将来への不安が増す。今後も科学技術の進展や協調は見込めるが、誰でも楽をして良い生活がしたい欲望を減らすことはできないので、急速に進む温暖化の阻止は無理だろう・・・と思う。

2017年7月16日(日) 記